

令和6年度 第74回宮城県中学校英語暗唱大会・
高円宮杯第76回全日本中学校英語弁論大会宮城県予選大会
大会要項

主催 宮城県連合中学校教育研究会英語研究部会 読売新聞社・日本学生協会基金
後援 宮城県教育委員会

- 1 期 日 令和6年9月24日(火) 午前9時30分 開場・受付
10:00 開会 10:10~11:50 暗唱部門 12:45~14:50 弁論部門 15:15~15:35 閉会
- 2 会 場 パトナホール(宮城野区文化センター)
〒983-0842 宮城県仙台市宮城野区五輪2丁目12-70 電話:022-257-1213
- 3 出場部門 暗唱部門・弁論部門

4 参加資格

○暗唱部門、弁論部門ともに2024年度高円宮杯全日本中学校英語弁論大会の参加資格に準ずる。

(1)宮城県内の中学校またはそれに相当する中学校に在籍する生徒で、学校長が推薦した者。ただし、下記(a)~(d)に該当する者は参加できない。当該学校長は推薦の際、事実関係を確認の上、下記(a)~(d)に抵触しないことを証するものとする。

(a)満5歳の誕生日以後に、通算1年以上または継続して6か月以上、英語圏(*)に居住した者。

(b)日本国内、海外を問わず、英語以外の教科に関し、実態として英語による教育を行っている学校(アメリカン・スクール、インターナショナル・スクール、または授業科目の半分以上を英語で行っている学校を含む)に6か月以上在籍したことのある者。インターナショナル幼稚園・保育所はこれに含まない。

(c)保護者または同居家族に、英語を母語とする者、または英語圏(*)出身者がいる場合。

(d)過去に高円宮杯中央大会にて1位~3位に入賞した者。

(*)「英語圏」とは、英語を(ア)第一言語、(イ)公用語、または(ウ)公用語に準ずる言語として使用する国・地域をいい、その一覧は以下の高円宮杯ホームページを参照すること。

<https://www.jnsafund.org>

アイルランド、アメリカ合衆国、アンティグア・バーブーダ、イスラエル国、インド、ウガンダ共和国、英国(グレートブリテン及び北アイルランド連合王国)、エチオピア連邦民主共和国、オーストラリア連邦、ガイアナ共和国、ガーナ共和国、カナダ、カメルーン共和国、ガンビア共和国、キプロス共和国、キリバス共和国、クック諸島、グレナダ、ケニア共和国、サウジアラビア王国、サモア独立国、ザンビア共和国、シエラレオネ共和国、ジャマイカ、シンガポール共和国、ジンバブエ共和国、スーダン共和国、スリナム共和国、スリランカ民主社会主義共和国、スワジランド王国、セーシェル共和国、セントクリストファー・ネイヴィス、セントビンセント及びグレナディーン諸島、セントルシア、ソマリア連邦共和国、ソロモン諸島、タンザニア連合共和国、ツバル、ドミニカ国、トリニダード・トバゴ共和国、トンガ王国、ナイジェリア連邦共和国、ナウル共和国、ナミビア共和国、ニウエ、ニュージーランド、パキスタン・イスラム共和国、バハマ国、パプアニューギニア独立国、パラオ共和国、バルバドス、東ティモール民主共和国、フィジー共和国、フィリピン共和国、ブルネイ・ダルサラーム国、ベリーズ、ボツワナ共和国、香港、マーシャル諸島共和国、マラウイ共和国、マルタ共和国、マレーシア、ミクロネシア連邦、南アフリカ共和国、南スーダン共和国、モーリシャス共和国、ヨルダン・ハシェミット王国、リベリア共和国、ルワンダ共和国、レソト王国、レバノン共和国

(2)上記の条項に違反して出場した場合、失格とする。

5 地区別出場枠(暗唱部門・弁論部門をあわせて)

仙台市	10人	仙台地区	6人	大河原地区	4人
大崎地区	4人	栗原地区	2人	登米地区	2人
本吉地区	3人	石巻地区	5人		
					計36名

6 表彰

- (1) 県教育長賞（暗唱部門・弁論部門それぞれに）
最優秀賞受賞者1名（賞状）
- (2) 英語研究部会長賞（暗唱部門・弁論部門それぞれに）
最優秀賞 1名（優勝杯・賞状・盾） 優秀賞 2名（賞状・盾） 優良賞 4名（賞状）
奨励賞（上記3つの賞に入らなかった出場者全員）
- (3) 読売新聞社賞（弁論部門のみ）
最優秀賞 1名（賞状） 優秀賞2名（賞状） 優良賞 4名（賞状）

7 留意事項

- (1) 弁論内容は生徒自身の意見・主張を英語でまとめた未発表のものとする。ただし、今年度の高円宮杯関連大会で発表したものはこの限りではない。剽窃は厳に禁止する。引用はそれとわかる表現で明示する。これらに違反した場合、失格とする。（国語の対外的な弁論大会等で使用した原稿の翻訳も認めない。）また、地区予選大会で使用した原稿の変更や加筆修正は認めない。
- (2) 暗唱原稿は、中学校検定教科書の中から選ぶものとする。（現行のものでなくても良い）文章を加筆修正したものは使用できない。また、地区大会で使用した暗唱原稿の変更は認めない。
- (3) 制限時間は5分とする。
- (4) マイクなど音声機器は使用しない。
- (5) 視覚に訴える道具の使用及び過度な演出・演技は禁止する。（物を持たないこと）
- (6) 演壇の前及び横に出てスピーチをすることは原則禁止とする。ただし、身体的理由等でやむを得ない場合は考慮する。
- (7) 暗唱の際には、原則として原稿を持ち込まない。原稿を見た時点で、減点の対象となる。弁論については、原稿の持ち込みは構わないが、見て発表した場合は、同時に減点の対象となる。
- (8) 暗唱・弁論共に、発表時間が5分を超えた場合は減点とする。（平成25年度より）
- (9) 参観者数の制限は設けませんが、参観者は、学校を通じて入場許可証を受け取り、大会中、入場許可証が見えるようにすること。

8 確認事項

- (1) 弁論の部第1位から第3位までは高円宮杯中央大会への参加が認められる。
- (2) 暗唱部門入賞者の最優秀者1名は、東北六県中学校英語暗唱・高等学校英語弁論大会への出場資格が与えられる。
- (3) 参加資格に関して不明な点がある場合は、地区の事務局を通して宮連中英語部会長に確認すること。

9 参加申込

- (1) 参加者名簿（様式A）を9月13日（金）まで県中英研事務局（担当：石巻市立渡波中学校・担当名：石黒弘昭）に提出すること。（E-mail添付：jhswatacl@ishinomaki.lg.jp FAXも可）
演題、学校名、氏名（ふりがなを必ず付ける）、学年、男女別に記入すること。
- (2) 暗唱・弁論部門の参加者の原稿については、様式Bを参照してデータをE-mail添付で提出、もしくはA4判（たて）上質紙に印刷し、10部提出のこと。また、原稿が1面に収まらないときは、裏面に両面印刷のこと。